

委員会活動報告書

委員長名 芳我 ちより

【委員会名】		広報・国際委員会
【メンバー】		岡本菜穂子(上智大学)、小田美紀子(島根県立大学)、¥武井勇介 (山梨大学)、 ◎芳我ちより(香川大学)、吉川 悦子(日本赤十字看護大学) 相談役・サポート:鈴木 美和(三育学院大学) 50音順、◎委員長、○副委員長、¥会計担当、*会員校以外の委員、()所属名
【活動方針】		1. ホームページおよびメールマガジン等を活用し、会員校との情報共有を図る。 2. ホームページ(英語版を含む)について評価し、必要に応じて更新、改変する。 3. 広報活動を通じて、全保健の活動内容や成果の普及を図り、新規会員の獲得を推進する。 4. 会員校で参照できるよう、魅力的かつ有用な教材等の情報収集を図り、保健師教育技法の向上のための資料を提供する。
2024(令和6)年度		
達成目標	1. 会員校への情報発信をホームページおよびメールマガジン等で、タイムリーに行う。 2. ホームページ(英語版を含む)について評価し、プラットフォーム構築に向けた見直しを図る。 3. 公衆衛生関連学会等で全保健の活動内容や成果の普及を図る。 4. 国内外の教育活動報告・研究等を検索し、これからの保健師教育に資する魅力的かつ有用な教材等の情報収集を図り、保健師教育技法の向上のための資料を会員校で参照できるよう提供する。	
活動報告	1. 事務局と連携し、定期的にホームページおよびメールマガジンに掲載する情報を募集した。また時事的なトピックス・情報については、三役と協議しながらタイムリーに発信した。 2. ホームページ(英語版を含む)について、理事の交代や委員会の報告の更新にともない、随時更新した。また、理事や会員校に意見を求め、内容の充実と利便性を追求するとともに、委員会において不具合等の確認を行った。 3. 第83回日本公衆衛生学会総会(札幌市開催)において併設展示し、全保健の活動内容や成果の普及を図った。 4. スコーピングレビューの手法を用いて国内外の教育活動報告・研究等を収集し、これからの保健師教育に資する魅力的かつ有用な教材・教育活動例を収集し、学術雑誌Nurse Education in Practiceにおいて出版した。doi.org/10.1016/j.nepr.2025.104319 5. 効率的な委員会活動を運営推進するために、メンバーで3回(2回オンライン、1対面)会議を開催し、委員会活動にいて意見交換を行うだけでなく、教材紹介のための手順を決定した。	